

平成 26 年 7 月 7 日
サイバー空間の脅威に対する兵庫県官民合同対策プロジェクト事務局

第二回サイバー空間の脅威に対する兵庫県官民合同対策プロジェクト
総会要旨

- 1 日時
平成26年 4 月25日午後 1 時30分から午後 3 時まで
- 2 場所
警察本部21階大会議室
- 3 出席者
(共同代表)
道谷 卓 姫路獨協大学法学部長・法学部教授 (座長)
井上 剛志 兵庫県警察本部長
(共同副代表)
中村 守男 兵庫県インターネット安全利用推進協議会会長 (幹事長)
黒河内 豊 兵庫県警察生活安全部長
(有識者)
上田 孝治 神戸さきがけ法律事務所弁護士
柿沼 太一 かけはし法律事務所弁護士
道谷 卓 姫路獨協大学法学部長・法学部教授 (共同代表)
力宗 幸男 兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科教授
林 健太 甲南大学経済学部准教授
前田 裕昭 神戸新聞社神戸新聞地域総研主任研究員
兼デジタル事業局メディアプロモート室データベース担当部長
延原 宏 学校法人熊見学園神戸星城高等学校情報部課長
竹村 英樹 兵庫県健康福祉部こども局青少年課長
野澤 素子 兵庫県企画県民部地域安全課長
山本 昌宏 兵庫県警察本部刑事部参事官兼生活安全部参事官
齋賀 隆史 兵庫県警察本部警備部参事官兼公安第一課長
小野 義昭 兵庫県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課長
米谷 繁 兵庫県教育委員会事務局教育企画課主任指導主事
(情報共有対策分科会代表幹事)
味村 隆史 株式会社日本国際映画著作権協会代表取締役
村上 裕之 株式会社日本国際映画著作権協会法務室長
雁金 順一 兵庫県企画県民部消費生活課副課長
(教育・啓発対策分科会代表幹事)
須磨 俊仁 兵庫県PTA協議会常務理事

上村 泰之 兵庫県健康福祉部こども局青少年課青少年指導班長
(環境対策分科会代表幹事)

中村 守男 兵庫県インターネット安全利用推進協議会会長 (共同副代表)

地道 秀明 兵庫県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課次席

4 議題

(1) 議決事項

サイバー空間の脅威に対する兵庫県官民合同対策プロジェクト設置要綱の一部改正について

(2) 報告事項

分科会の取組について

5 議事要旨

(1) 議決事項

兵庫県組織の組織名称変更等に伴い、サイバー空間の脅威に対する兵庫県官民合同対策プロジェクト設置要綱の一部改正をした。

(2) 報告事項

ア 情報共有対策分科会の取組報告

(ア) 平成25年度中の開催状況を次とおり報告

○ 平成25年10月4日

民間事業者の情報セキュリティ対策の脆弱性が狙われ、ウイルス拡散や個人情報の流出等など、その脅威が増大しているため、これら脅威に対する民間事業者の対処能力の向上を図るための「企業対象セミナーの開催」について検討

○ 平成25年11月29日

情報共有対策分科会と教育・啓発対策分科会の枠組みと構成員の見直しを検討

(イ) 各構成員の主な取組を報告

違法ダウンロード啓発資料の作成配付、インターネットバンキングに係る不正送金被害の未然防止、情報セキュリティ対策に係る番組制作・放映、民間事業者対象のセミナー開催の5つの取組を報告

(ウ) 有識者の助言

企業対象セミナーについては、中小事業者では財源と人材に限りがあるので、売上向上、経費削減のセミナーには興味を持って参加いただけるが、情報セキュリティ対策となると少しウエイトを落とされる傾向がある。

中小事業者に情報セキュリティサイドのウエイト、位置付けを変えてもらため、どうやって普及していくかが大きな課題。まずはこのセミナーの裾野を広げる。

イ 教育・啓発対策分科会の取組

(ア) 平成25年度中の開催状況を次とおり報告

- 平成25年10月4日
青少年のインターネット利用に関する現状や取組について情報交換等を行い、青少年ネットモラル向上指導者セミナーの開催などを検討
- 平成25年11月29日
情報共有対策分科会と教育・啓発対策分科会の枠組みと構成員の見直し、平成26年度 of 取組の情報モラル教育促進事業、ネットいじめ防止プログラム事業等について検討
- 平成26年2月13日
平成26年度の取組等について情報交換

(イ) 各構成員の主な取組を報告

青少年ネットモラル向上指導者セミナーの開催、スマホ啓発用アニメーションの制作・活用、サイバー犯罪被害防止教室事業の拡充、インターネット親子学習支援事業の拡充、啓発用アプリケーションの開発・活用、インターネットに起因する非行防止等対策モデル事業の推進、サイバー犯罪防犯センター設置、学生サイバー防犯リーダー育成事業の創設、情報モラル教育促進事業の推進、ネットいじめ防止プログラム事業の推進の10つの取組を報告

(ウ) 有識者の助言

啓発用アプリケーションを学生に体験させたところ、登場キャラクターや画面切り替えに好評があったが、ストーリー分岐やゲーム性が必要との提案もあった。

学生サイバー防犯リーダー育成事業についても、学生の意見を聞いたところ、防犯の研修機会が得られることや、研修終了後の認定証交付、講師体験等学生にとっても非常にメリットがあり、モラルとともに指導力も身につくため是非やりたいとの意見が出るなど、学生がやる気を出す仕組みで教育現場としても評価。

ウ 環境対策分科会の取組

(ア) 平成25年度中の開催状況を次とおり報告

- 平成25年5月23日
構成員の取組について意見交換し、安全・安心に利用出来るインターネット利用環境整備に向けて各取組を強化して行く旨で検討
- 平成25年10月11日
日本複合カフェ協会兵庫県支部の取組について意見交換をし、今後の取組である既存のガイドラインよりも更に厳しく、健全化を目指した兵庫県支部ガイドラインの策定に向けて検討
- 平成25年3月7日

旅館ホテル生活衛生同業組合の取組について意見交換をし、旅館ホテル生活衛生同業組合の実態把握を目的とした加盟店舗に対するアンケート調査結果に基づくガイドラインの策定に向けて検討

○ 平成26年3月19日

日本複合カフェ協会兵庫県支部の取組である兵庫県支部版ガイドラインの策定や同支部の平成26年度の取組予定について検討

(イ) 各構成員の主な取組を報告

インターネットカフェにおける匿名性の排除等環境浄化活動の推進、旅館・ホテルにおけるインターネット利用に関する匿名性の排除活動の推進の2つの取組を報告

(ウ) 有識者の助言

全体として良い方向に進めていただいている。ここにあげられていないレストラン等にも啓蒙活動の推進を検討。